



平成 30 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社トライアンフコーポレーション  
代表者名 代表取締役 小澤 勝  
(コード番号 3651 TOKYO PRO Market)  
問合せ先 経営管理部 部長 末次 達也  
(TEL 03-5332-6751)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

本日公表した第 1 四半期の実績を踏まえて当社グループの業績を合理的に予測しなおした結果、平成 29 年 11 月 30 日に公表した業績予想を大幅に上回ることが判明したため、当連結会計年度の業績予想を修正して公表することとしましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 9 月期 (平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,339	100	87	65	62 円 81 銭
今回修正予想 (B)	2,356	132	119	101	97 円 09 銭
増減額 (B-A)	16	32	32	35	
増減率 (%)	0.7	32.6	37.2	54.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 9 月期)	2,398	163	149	109	105 円 32 銭

#### 2. 連結業績予想修正の理由

当社の販売費および一般管理費の実績が計画を下回りました。この影響により、当社個別の業績予測は、営業利益ベースで 1,140 千円の上方修正、当期純利益ベースで 1,669 千円の上方修正となりました。

情報技術事業において、商社向けソフトウェア開発プロジェクトにつき中間リリースしたソフトウェアに重大なバグが生じ、その修正に必要な人員を追加投入したため、追加費用の見積りが当初予定を 8,163 千円上回って赤字化する見通しです。一方、他のプロジェクトは順調に推移しており、かつ、SPBにおける稼働工数が計画を上回っており今後も継続する見通しであるため、情報技術事業全体としては業績が上振れする傾向で推移しています。これらの影響により、情報技術事業における業績予測は、営業利益ベースで 29,456 千円の上方修正、当期純利益ベースで 20,357 千円の上方修正となりました。

不動産事業において、平成 30 年 1 月中に関西地方で収益不動産物件を取得したため、取得費用の負担と売上高の増加を見込んでいます。また、平成 28 年 9 月期に取得した収益不動産に対する不動産取得税の見積りを引当金として同連結会計年度末日に計上したため課税所得の一時差異が生じており、その後長らく課税当局からの請求がありませんでしたが、当第 1 四半期累計期間において請求があり支払いが実現したため課税所得の一時差異が解消し、法人税等△

1,440千円の影響がありました。これらの影響により、不動産事業における業績予測は、営業利益ベースで1,401千円の下方修正、当期純利益ベースで431千円の上方修正となりました。

流通販売事業において、平成29年12月1日付で取得したLast Virgin 事業に関して負ののれん発生益9,213千円を認識しました。当社グループは、Last Virgin 原宿店の出店を3月上旬に予定しており、設備取得に関する費用の負担と売上高の増加を見込んでいます。これらの影響により、流通販売事業における業績予測は、営業利益ベースで3,391千円の上方修正、当期純利益ベースで12,780千円の上方修正となりました。

以上のとおり当社グループの業績を合理的に予測しなおした結果、平成29年11月30日に公表した業績予想を大幅に上回ることが判明しました。

(注) 上記の業績予測は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づいて算定したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上